



門田 雅彦
公明党
(45分)

がん相談支援は

問 市民病院の「がん相談支援センター」の成果と課題は。

答 がん相談支援センターではがん患者やその家族、市民からの相談への対応、情報交換の場や市民公開講座の開催等を通じ、がんに関するさまざまな支援を行っている。2017年度は、4026

件の相談に対応した。その主な内容は、医療費や社会保障制度、精神的不安や苦痛、治療後の社会復帰などに関することであった。

こうした取り組みを通じ、がん患者やその家族の不安の軽減、市民へのがんに関する正しい知識の普及に寄与しているものと考えている。

今後、医療の高度化に伴い、相談内容は多岐にわたり、より専門性の高い対応が求められる。患者の思いに一層寄り添いながら、幅広い世代の支援に努めていく。



生田 政代
公明党
(40分)

5歳児発達相談は

問 2016年度から保育所幼稚園等で5歳児発達相談が実施されている。今後の課題は。

答 5歳児発達相談は、集団生活における子どもの課題を早期に発見し、支援に結びつけ、スムーズな就学につながることを目的に、質問票を活用した相談を行うもの

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の取り組みは

である。課題は、全150施設で実施できていないことであり、引き続き相談の拡大と定着に努める。

問 肺炎は、高齢者になるほど重症化しやすい。高齢者への肺炎球菌ワクチンの定期接種について、今年度が最終年度であるが、受け忘れた方や接種できなかつた方の救済措置は。

答 現在、国の厚生科学審議会において検討中である。



奥 陽治
公明党
(40分)

保育行政は

問 市立保育所の事故における検証と再発防止は。

答 検証委員会を開催し、意見を報告書として取りまとめ公表する。その後、保育施設においてマニュアルの見直しなどを行い再発防止に努める。また、家庭での事故防止のための啓発を行う。



宮本 宏樹
公明党
(35分)

AIを活用した道路管理システムの導入は

問 他都市では、路面の点検について、ICTやAIを活用した道路管理システムの構築を推進しているが、本市も積極的に取り入れるべきでは。

答 本市は、職員による定期点検や道路パトロールのほか、土木

防災行政は

問 ①「福山市域における浸水対策協議会」の協議の経過は。②防災意識向上への考えは。

答 ①河川流域ごとに当面の対策と中・長期対策を今年度中にまとめる。今後も県河川の改修事業を加速し、水路改修や排水機の増強など浸水対策に全力で取り組む。②学区・地区防災（避難）計画を踏まえマイタイムラインの作成を推進し、防災訓練等を通じ市民と防災や減災の意識の共有を進める。

常設員や市民との協働による情報提供などにより、道路施設の適正な維持管理に努めている。現在、他の自治体で実証実験が進められている人工知能（AI）を活用した道路管理システムは、目視で行っている点検をAIに委ねるものである。



こうした先端技術の導入も視野に入れ、より効率的、効果的な道路管理に努める。